

# 一丁目通信

2017年8月[0096号]

Arts-eihan

発行: 株式会社アーツエイハン

WEB: <http://eihan.com> Mail: [info@eihan.com](mailto:info@eihan.com)

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-18-13 協建新宿一丁目ビル

電話: 03-3355-1241 FAX: 03-5362-9325

夏は短い、  
もう1ヵ月もすると秋の気配すらするだろう。  
実りの秋を目指して、夏を乗り切りたい。

代表取締役 飯塚吉純



## 顔認識マーケティングツール

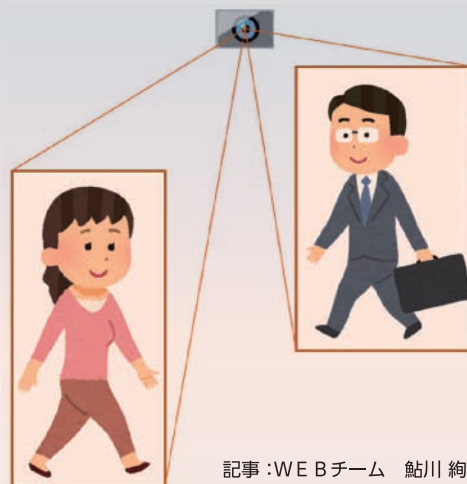
## BeeSight がバージョンアップ!

エイコムの顔認識マーケティングツール BeeSight がバージョンアップしました。これまで顔認識を用いて視聴者情報の取得を可能としてきましたが、新機能によりカメラ前の通過人数を把握することができる「ピープルカウンター機能」を実装いたしました。

ピープルカウンターは視聴者属性とともに通行量の把握を同時に行いたいという多くのお声を実現した追加機能です。

棚前を通過した人数に対しどの程度の人が視線を向けたのか、設置したデジタルサイネージや展示物などの視聴率を把握するマーケティングデータとして活用して頂けます。

また、これまでの天井設置型のピープルカウンターに比べ、設置が容易な簡易型ピープルカウンターとして単体での販売も可能です。



記事: WEBチーム 鮎川 絢一

## 夏ですね…続、枝豆

記事: 代表 飯塚 吉純

いつの間にか梅雨が明け、これから本格的な夏!! という変化もメリハリもなく、少々拍子抜けの感じですが、暑い夏の真っ盛りであるのは間違いありません。私はどの季節が一番好きかと言われれば、間違いなく真夏であり、ビールが一年で一番おいしく飲めるし、つまみは、何とんでも産毛がある冷凍でない枝豆が食せるのが嬉しく、そこに本当の夏を感じます。そんな枝豆も、私が子供の頃には、冷凍枝豆など存在せず、季節になると枝つきを買ってきて、夕涼みの縁側で必死にむしっていた遠い記憶があります。Wikipediaによると、枝豆という呼び名は、枝ごと出荷されることが由来だそうで、そもそも「大豆」の成長途中で、未熟な緑色の状態のときに収穫したものが枝豆というわけです。そんな枝豆の私のこだわりの美味しい食べ方は、大きくプリッと産毛が綺麗な枝豆を、房の両端をハサミで切って塩もみし、熱湯で3分固く茹でて、ザルにとって団扇であおぐ、決して水にさらしてはいけません。手間が掛かりますが、これが私のいつもの夏の風物詩です。





## おすすめの映画

記事：映像チーム 平井慶太

### 第3回 「復讐に燃える一人の男の運命は— -レヴェナント：蘇えりし者-」

こんにちは。皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、休日におすすめの映画を紹介したいと思います。アレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトゥ監督によって制作された「レヴェナント：蘇えりし者」（日本での劇場公開2016年）です。この作品は、アメリカの西部開拓時代を舞台に、一人の罾猟師（主演レオナルド・ディカプリオ）が、極寒の高地で、馬も食料もない中、がむしゃらに生にしがみつき、裏切られた仲間に復讐を果たす物語です。ディカプリオが復讐という執念だけで、先住民からの迫害や自然の猛威による苦難を乗り越えていくシーンは、観る者の心を強烈に揺さぶります！

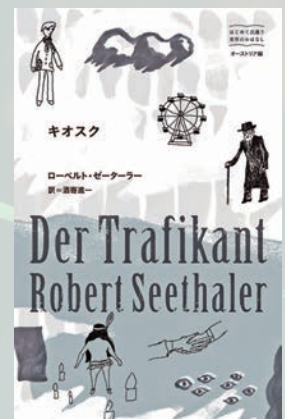
また、撮影賞を受賞したカメラマンのエマニュエル・ルベツキの超美しい映像にも注目してみてください！ 流れる川の煌めき、黄昏時の広大な空、凍てつく上高地、照明を使わず自然光のみで撮影した映像は、美しすぎてため息ものです！ さすが3度目のアカデミー撮影賞受賞といったところでしょう、納得です。是非、観賞してみてください！



## 旅と本

記事：映像チーム 佐藤 豊

旅に行ってきました。行き先は、ウィーンとプラハ。せっかく行くのでオーストリアの作家の作品を何か読んでいこうと本屋に行ったところ平積みされている「キオスク」という本を見つけました。オーストリアでは人気のローベルト・ゼーターラーという作家の作品で今回が初邦訳。なにか縁を感じて購入しました。1937年ナチスドイツに統治される直前のウィーンのタバコや新聞を販売するキオスクで働くことになった少年と年老いた精神科医のフロイト教授の交流を中心とした話です。本で読んだ街・食事・空気を実際に感じるというのはなんとも言えず良く、美しい街並みも歴史を知った上でぶらつくのはただの観光とは違って楽しいものでした。



## 浴衣にもトレンドがあるようです

記事：WEBチーム 山室 亜耶

8月はお祭りシーズンですね。私も行ってきます！…ということで、今年のトレンドを調べてみました。

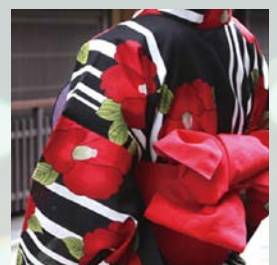
**2017年は①古典②レトロ③はんなり④粋**、が流行との事。①②はまあわかりますが、粋、はんなりとは…。作られた流行臭がしますね。③の「はんなり」は京言葉で、『明るくて上品で華やかな様』を表すそう。柄でいうと朝顔や椿がそれにあたらしいです。う～ん、ますますよくわからない！ どうやら、上品で女性らしいパステルカラーの花柄…みたいな柄を指すらしいです。

④「粋」とは『気質・態度・身なりなどがさっぱりとあかぬけしていて、しかも色気があること』…といわれてもよくわからないですね。色はモノトーンや濃い色、柄は幾何学模様などがそれにあたります。古典柄より、クールで大人寄りな感じを指すみたいですが、境界がよくわからないですね。

結局「好きなならなんでもいいか！」という結論になったので、好きなものを好きなように着ようと思います！



▲古典柄



▲レトロ柄



▲はんなり



▲粋